

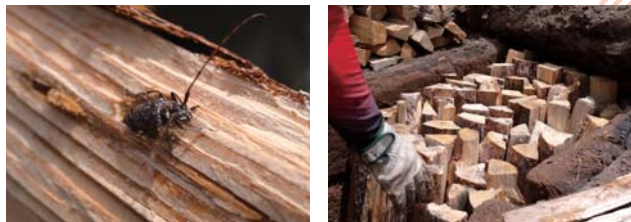
枯れ松で炭を焼いています



地域おこし協力隊
関口英樹

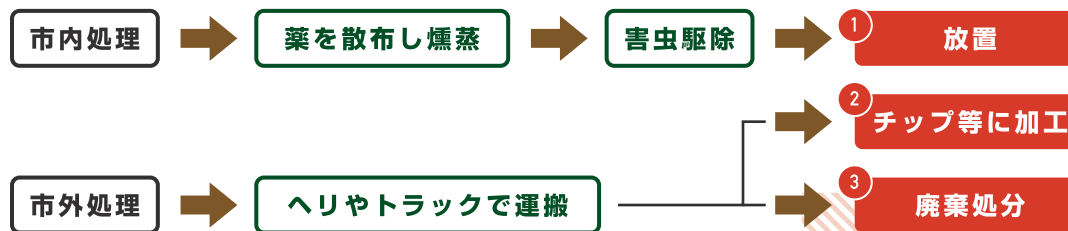
Q どうして炭を焼いているの？

A 松くい虫被害で枯れた東松島の松を活用する試みです。



Q 枯れ松はどのように処理されているの？

A おおまかに3つのパターンがあります。



Q 枯れ松で炭を焼くことで課題は解決できるの？

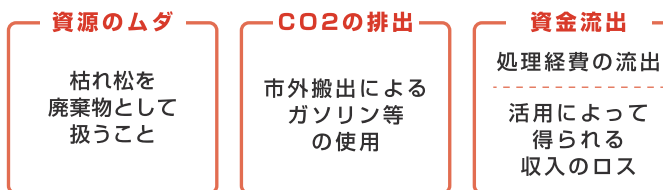
A 環境に配慮すること、市内で経済を循環させること。課題解決のための一つの手段だと思えます。

※ただし、もともとは森保全の会が行っていた事業を個人で引き継いでいるので、本当に微力な貢献ではあります。



Q その処理はダメなの？

A ダメ、というよりは課題です。東松島のため、自然環境のために改善の余地はあるのかな、と。



Q 炭はどうやって作るの？



※ちなみに炭のカスは農地の土壌改良材として使用できます

Q できた炭はどう使っているの？

A 時と場合で様々ですが、主に地域のイベントなどに使ってもらっています。宮野森小学校の枯れ松で作った炭に関しては、学校行事用に全て小学校にお渡しします。



Q 松炭はどういう炭なの？

- A**
- 1.火がつきやすい!! (BBQにはぴったり)
 - 2.火の温度が黒炭の中で一番高い!!
 - 3.脱臭作用がある!
 - 4.湿度調節機能がある!

※3、4は炭全般にいえます